

◎ 4時間目の授業

(1) 目標

- ・分析の視点をもって他の社会調査を、分析する。
- ・情報を得る側として、今後どのようなことを心掛けて情報と向き合っていくか、筆者の主張にふれながら具体的に考える。

(2) 展開

過程	学習活動	○ 指導・支援 ※ 評価
導 入	1 前時の学習を振り返る。  2 本時のめあてを確認する。	○「情報についての自分の考えを深める」ため、社会調査がどれだけ「事実」を反映したものであるか、見極める能力が必要だという筆者の主張を押さえる。  ○他の社会調査を分析し、今後情報にどう接していくかを考えることを告げる。  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">めあて： 情報について考えを深め、自分の意見をもとう。</div>
展 開	3 他の社会調査（Ⅰ，Ⅱ）の「ズレ」について分析する。 ・Ⅰ「40歳代で出産した女性は、長寿」（逆方向の因果関係） ・Ⅱ「妊娠中喫煙で、子の肥満3倍」（隠れた変数による因果関係）  4 情報を伝える側の情報操作について考える。  5 社会調査に接する時に、気を付けなければならないことは何か、まとめる。	○前時のワークシートを参考にさせる。  ○隠れた変数としてどのようなものが考えられるかを班ごとに検討させ、隠れた因数の多さに気付かせる。  ○Ⅱにおいて、 ・隠れた変数が多いのに、なぜ喫煙のみを取り上げたのか ・本当は何を伝えたかったのか を考えさせ、情報操作について触れる。  ○ワークシートを見直し、「分析の視点」を、もっとも重要だと考える順に並べさせる。 →「調査の目的」を明確にする 「調査の対象」が「調査の目的」に合っている 「調査の内容」が「調査の目的」に合っている
終 末	6 今後、情報にどう接していくかを考える。	○分析したことを基に、「うそ」という題名を付けた筆者の意図や主張を振り返り、自分の考えをまとめるよう指示する。